平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No.1

中問	小	連		概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況		
問			観点		刀側足くさる肝骨状化		
問	問			成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること		
(1)		1	技能		18.24		
(2)		2	技能		5		
(3)		(3)	技能		1 1 1 5		
(4)		4	技能		最小公倍数 36 最大公約数 6 (完答)		
(1)		⑤	知識		1		
(2)		6	知識		ア 32 イ 4 ウ 4 (完答)		
(3)			知識		エ 3.2 オ 25 カ 0.5 キ 80.5 (完答) ※ エとオの数の入れ替え可。		
計算の結果を見積もること、除法の性質に基づいて小数の計算を整数の計算に置き換えること、計算の結果を確かめることは大切な計算の能力である。ここで取り上げる商の大きさは、児童にとってとらえにくい考え方であり、日々の授業場面においても常に話題にしながら、児童が計算する際にいつも意識することができるようにしたい。 (1) 8 知識							
(1)	業:	8	知識		つも意識することができるようにしたい。 イ (式) 5.2×1.2=6.24		
					<u>答え 6.24 m</u>		
(1)		10	技能		2.4 c m		
(2)			関心	 (正答の条件) ① 「比例の関係といえる」を囲んでいる。 ② 比例の関係を基に説明している。 ③ 対応の関係を基に説明している。 ※③は第6学年で学習する内容であるが、問題の表から児童が発見して説明した場合には十分満足できる解答状況とする。 (正答例) (比例の関係といえる) 比例の関係といえない) ②の場合理由 ・水を入れる時間が2倍、3倍…になると、それにともなって、水の深さも2倍、3倍…になっているから。 ③の場合理由 ・水の深さ÷水を入れる時間=2.4になっているから。など ①を正しく書いているが、その理由を単に数を列挙した表現に留まっている。(数のきまりや関係に触れていない) ②または①、③を正しく書いている。 			
	(3) (4) (1) (2) (3) 計算で ことに (1) (2)	(3) (4) (1) (2) (3) 計算の結 ことは大業 (1) (2) (1)	(3) 3 3 (3) (4) 4 (4) (1) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(3) 3 技能 (4) 4 技能 (1) 5 知識 (2) 6 知識 (3) 7 知識 (3) 7 知識 (1) 8 知識 (2) 9 技能 (1) 10 技能	(3) ② 技能 (4) ④ 技能 (1) ⑤ 知識 (2) ⑥ 知識 (3) ⑦ 知識 (3) ⑦ 知識 (3) ⑦ 知識 (3) ⑦ 知識 (3) ② 対応の性質に基づいて小数の計算を整数 ま場面においても常に話題にしながら、児童が計算する際にい (1) ⑧ 技能 ○ 式が正しく書けている。 (1) ⑩ 技能 (2) ② 技能 ○ 式が正しく書けている。 (1) ⑩ 技能 (2) ② 技能 (2) ② 大がの関係を基に説明している。 ※③は第6学年で学習する内容であるが、『十分満足できる解答状況とする。 (正答例) (正例の関係といえる) 比例の関係といえるかの関係といえない) ②の場合 理由 ・水を入れる時間が2倍、3倍…になると、そっているから。 ③の場合 理由 ・水の深さ・水を入れる時間=2.4になってい ①を正しく書いているが、その理由を単に数を		

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No. 2

大	中	小		観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
問	問				成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること
5	(1)		12	知識		○ 2×3×2, 2×2×3 など (6+6, 6×2も可)
			13	知識		○ 「 等しく 」,「 同じに 」など ※等しいということが表現できていれば可。
	(2)		14)	考え		ゥ
6			15	関心	○ 正しい答えを2つ書いている。	ア m² イ cm² ウ km²
7			16	考え		う
8	(1)		17	考え		イラストの枚数 (枚) 1 2 3 4 5 ピンの数個) 4 7 10 13 16 (完答)
	(2) 8 考え (正答の条件) ① イラストが 1 枚増えるごとにピンが何本増えるのかという増え方のきまりを、図やしく表現している。 ② 計算で求める方法を書いている。 ③ 個数が 1 0 3 個であることを求めている。 (正答例) 例: イラストが 1 枚ふえるごとに、ピンは 3 個ずつふえます。 3 4 × 3 + 1 = 1 0 3 答え 1 0 3 個 等 ※他の増え方のきまりで求めて ①、②を正しく書いている。 ①、②、③の全てを正しく書いている。				ずつふえます。	
9	(1)		19	知識		① 3 ② 3 ③ 180° (完答)
	(2)		20	考え		3
		k = 1 -		与え		<u> </u>

【授業改善の視点】

多角形を対角線や 1 つの頂点と図形の内部の点を結んだ直線で複数の三角形に分割する活動や、三角形の 3 つの角の大きさの和が 180° であることを基にして、多角形の角の大きさの和を説明する活動を取り入れる。また、友達の考えた式や図を読み取ったり、式や図に表したりする活動を取り入れるようにしたい。